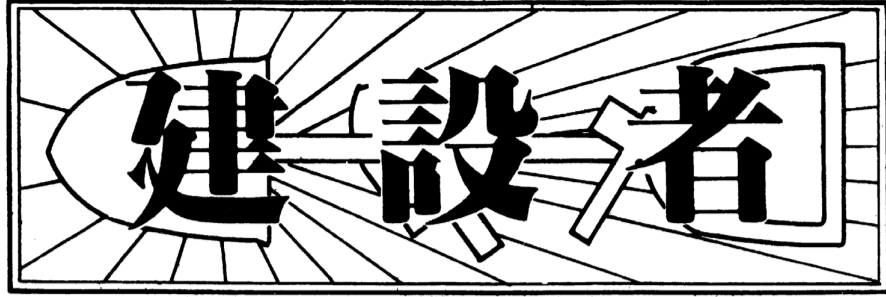


今月の葛飾組織現勢

2023年12月1日	4,198人
加 入	28人
転 入	3人
脱 退	81人
転 出	1人
2024年1月1日現在	4,147人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4

電 話 (5698) 1 2 6 1

FAX (5698) 1 2 6 2

発行人 関 根 伸 正

本田立石分会 鳴海利夫さん

歴史ある白髭神社に関わり46年



大祭で多くの参加者で神輿を担いで町内を練り歩く

子どもが参加する祭で地域活性につなげたい 睦会会長の立場から街おこしを考える

本田立石分会所属の鳴海利夫さん(68才)は、建築金物取付は、組合では、群の会計

をしながら、東四つ木にある白髭神社にかかわって46年。白髭神社の歴史は1491年

(室町時代)の創建といわれています。鳴海さんは、その神社の運営に携わる4町会の



鳴海 利夫さん

1つ東町会に所属し、その町会の神輿のための組織である睦会の会長をしています。

22才で睦会

「神社と子どもたちの関りがだんだん少なくなってきた。神輿も子供がやらないと地域活性につながらない。つなかりを作って街おこしにしたい。」と話す鳴海さん。自身は、22才の時に、その当時の睦会会長から直接、「神輿をやりなさい」と声をかけられやり始めたのがきっかけと話します。そこから、3年に1度の白髭神社の大祭で神輿を担ぐのと、間の2年で、三社祭などの地域で神輿を担いでいます。

コロナで中止

今から9年前に会長に就任し、6年前の2017年に初めて大祭を仕切ること。その後、みなさんも存じの通り新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、2020年が中止、昨年2023年もどうするか議論を重ねた結果、2024年(今年)への延期という決断となりました。

大祭の開催が中止された状況を振り返り、鳴海さんは、地域の街おこしと重ね合わせ、コロナの影響で神輿を担げない子ども(中学生)が出てきてしまっていること、地域とのつながりが薄れてしまっていることが心配と語ります。そんな状況を変えるきっかけづくりになればと、今年の大祭に向けて、子どもを呼ぶためのアイデアを考えていることもお話しいただきました。

技術のつまった赤けやきの神輿



赤けやきの彫刻

また、東町会睦会の神輿については、赤けやきを使った珍しい材質のもので、そこに彫られた彫刻も一つの木材から彫り上げた技術の詰まった他にないものと実際の神輿を前に紹介いただきました。

東町会の睦会は、平均年齢が約65才、鳴海さんご本人をはじめ、最年少では21歳、全員で12人の会員で組織しています。地域とのつながりを積極的に進めながら、次世代へのバトンタッチも順調に進めています。同時に、来年の大祭に向けてこの地域の睦会のメンバーを募集しています。ご興味のある方はご連絡お待ちしています。

寅さん

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。新年をむかえるのであろう。

早いもので東京オリンピックから3年がたち、今年フランスパリオリンピックの開催がある。日本選手の活躍に期待してしまう。また、紙幣デザインが一新される予定でもある。前回は20年前の平成16年(2004年)で、混乱がなければ良いと思う。ちなみに、久しく見たことのない2000円札は平成12年(2000年)発行である。

一方で、私たちの生活に密着する変更される点にも気を付けていきたい。4月から建設業にも適用される働き方改革。そして、マイナンバーカードをめぐる動きにも注意が必要である。マイナ保険証への移行に伴う昨年12月21日の報道、今年12月1日に現行の保険証を廃止する報道は、みなさんどう思ったであろうか。いまだに誤登録や情報漏洩などマイナンバーカードをめぐるトラブルが続出している現状がある。そこまでして保険証を廃止する必要があるのか。誰もが疑問に思っているのではない。

今年も私たち東京土建の土建国保を守るためにも、補助金確保の要請行動に加えて、保険証存続を求める運動を強めていく必要がある。それ以外にも私たちの生活を守るためにも、賃金、仕事、税金等々さまざまな運動を皆さんと共に進めていこう。

大軍拡・大增税に反対 区民集会で立石をパレード



及川委員長

及川執行委員長 きたからいごと学習・つながりの強化

組合員のみなさま、明けましておめでとうございます。昨年度は、働き方改革、イ

ンボイスの導入、アスベストの取り扱い強化など、さまざまな問題がスタートしました。私たちが建設に関わる物価高騰など、あらゆる面で生活が大変な状況におちいっています。今だからこそ、みなさんでそれぞれの問題を学習して、「組合に入ってから勉強になったよ」などの声をくみ取っていただきたいと思います。

す。また、レクリエーション、イベントなどを通して、横のつながり、組織定着、運動当事者づくりを企画段階で具体化できれば、私たち役員も励みになります。2024年度はより良い年になりますよう、みなさんと協力しあい、頑張りたいと思います。



立石の奥戸街道をパレード

【税金対策部担当 山澤書記】12月13日に葛飾区で平和のち・くらしを壊す大軍拡・大增税に反対区民集会が開催されました。場所はかつ

しかシンフォニーヒルズ別館レインボーホールにて集会を行い、各団体の決意表明の後パレードを立石・江公園まで行いました。参加者は各団体

拡大成果表

2023年 拡大月間取組結果 & 年末拡大月間

分会名	2023年1/1付人員	2024年1/1付人員	増減	春一番拡大月間(1~3月)		春の拡大月間(4~5月)		夏日常拡大月間(6~8月)		秋の拡大月間(9~10月)		年末拡大月間(11~12月)		年間拡大		
				目標数	加入数	目標数	加入数	目標数	加入数	目標数	加入数	目標数	加入数	目標数	加入数	到達率
たつみ	478	488	10	12	14	17	20	12	14	17	21	4	6	62	75	121.0%
奥戸	384	389	5	10	9	14	19	10	6	14	19	2	9	50	62	124.0%
本田立石	324	318	-6	8	7	11	7	8	4	11	11	4	2	42	31	73.8%
青戸	147	145	-2	4	3	5	5	4	2	5	8	1		19	18	94.7%
中央	382	368	-14	10	9	13	7	10	4	13	17	4	6	50	43	86.0%
堀切	262	245	-17	7	6	9	5	7	4	9	9	2	2	34	26	76.5%
亀有	383	373	-10	10	9	13	7	10	8	13	3	4	2	50	29	58.0%
細田高砂	377	374	-3	10	6	13	13	9	17	13	15	4	10	49	62	124.5%
柴又	176	171	-5	5	1	6	8	5		6	6	1		23	15	65.2%
新金町	299	288	-11	7	6	11	11	7	6	11	11	3	1	39	35	89.7%
北水元	182	178	-4	5	6	6	7	5	4	6	10	2	3	24	30	125.0%
幸田	271	261	-10	7	4	10	13	7	3	10	13	2	1	36	34	94.4%
水元	377	377	0	10	6	13	16	10	5	13	13	3	3	49	43	87.8%
その他	179	172	-7	5	5	8	11	4	1	8	5	1	1	26	23	88.5%
合計	4,221	4,147	-74	110	91	149	149	108	78	149	161	37	46	553	525	94.9%

2023年12月25日現在

今年も組織拡大進めよう 年末は7分会達成

2023年は、みなさんの協力で春・秋の拡大月間は達成することができました。年を締めくくる年末拡大では目標37人に対して、45人の拡大で目標達成となりました。中でも、7人の超過達成をした細田高砂分会をはじめ、たつみ・奥戸・中央・堀切・北水元・水元の7分会が達成をしました。

2023年は、年間拡大目標553人に対して、525人の加入(94.9%)。年間目標達成率は、たつみ・奥戸・細田高砂・北水元の4分会。たつみ分会は、春一番から年末拡大までの全てのラウンドで達成しました。

最終的に、2024年1月1日付組織人員は、4147人で、2023年1月1日付2211人に対して、74人の組織減少。そんな中でも、組織増した分会はたつみ・奥戸の2分会となりました。1月に入り、春一番拡大月間突入しています。労働組合に仲間を増やす取り組みは欠かせないです。周りに未加入の仲間がいたら、ぜひ組合加入を進めていきましょう。統一行動日は左記のとおりです。

【統一行動日 2日間】
2月21日(水)・3月14日(木)

CCUS レベル判定

キャリアアップシステム(CCUS)の登録について今年3月末までにレベル判定を受けないと、上位資格を保有していてもレベルを上げる能力評価に必要な就業日数の蓄積が滞ってできなくなり、カードタッチ数でのみ判定することになります(多くの年数がかる)。白カードの方は、レベル判定を今年3月末までにレベル判定を受けるようにしましょう。ご不明な点は、葛飾支部までお問い合わせください。

働き方改革関連法 建設業に全面適用

労働時間の記録と管理を

今年4月1日から働き方改革関連法が建設業にも全面適用されます。他産業ではすでに適用されている関連法、時間外労働の上限規制の適用が建設業でも4月から始まることとなります。従業員を雇用する事業所は対応準備を進めているでしょうか。

この対応には、労働時間の記録、管理が特に重要になります。働き方改革関連法に伴

- ①雇用締結の書面の作成(労働条件通知書・労働契約書・雇入通知書など)
- ②法定三帳簿の作成(労働者名簿・賃金台帳・出勤簿)及び保管(3年間)
- ③従業員の労働時間(始業・終業・休憩時間)の記録・管理

- ④36協定の届出及び、割増賃金の支払い(残業を指示するために労働時間で36協定の締結が必要)
- ⑤有給休暇の年5日間の取得
- ⑥時間外労働の割増率UP
- ⑦時間外労働の上限規制への対応

中学生職場体験

建設業の楽しさや魅力を伝える

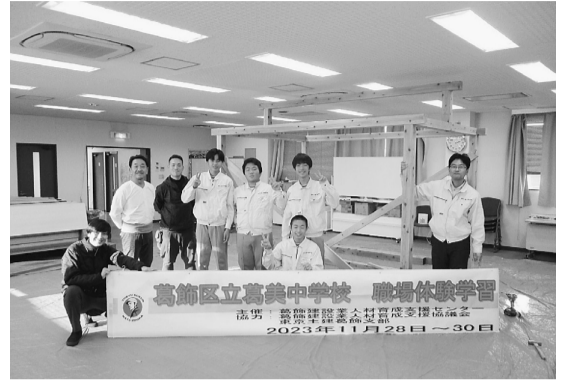


金町中学校の生徒が参加した職場体験

建設業の楽しさや魅力を伝えることができた職場体験となりました。

【技術対策担当 高橋書記】葛飾区内の中学校2校から支部に中学生の職場体験の受け入れの依頼があり、11月20〜22日に金町中学校の生徒5人、11月28〜30日に葛美中学校の生徒4人が木造建築に関わる体験をしました。

金町中学校の職場体験の講師には、亀有分会の筒井豊と、葛美中学校の職場体験の講師には、本田立石分会の片岡茂樹さん（大工 東京建築カレッジ講師）とカレッジ25期生の石田凌さんに務めていただきました。場所は葛飾支部会館で建て方から上棟まで行いました。講師からは生徒に道具を使ううえでケガの無いようにするために、持ち方、体の使い方、位置、目線などの注意点を意識するよう伝えていきました。



葛美中学校の生徒が参加した職場体験

教宣学習会を開催

変わりゆく立石駅前を取材

12月10日（日）分会新聞づくりの向上を目指すための教宣学習会を開催。テーマは立石駅の再開発が進められている現状を現地で取材し、記事作成をすることしました。

【本田立石分会教宣部 小林伸次】変わりゆく立石駅前。近に12月10日、教宣部総出で現調。10時集合、約1時間歩き回りました。古い建物が林立し、鉄板の囲いが張り巡らされ、奥へ入る道はバリケードで進入禁止。わずかに通行できる細道をあれこれ思いを巡らせながら、写真に収め、わずかに見える古い建物の上部を確認。今まで通ったなじみの店、新しい場所に移った店、やめた店、それぞれの運命を感じ、その店主、また、客等がまた新しくなった駅前で、バッタリ会うこともありかなと思いを巡らす。年老のいこの千円でベロベロになる位飲める街、「セブンペロの町」終わりを感しましたが、新駅ができて、活性化した街を思い描いて後になりました。



立石駅前を取材する教宣部員のみなさん

新加入者説明会を開催

5人の新加入者含め18人が参加



新加入者説明会後に全員で記念撮影

今年度第2回となる新加入者説明会を12月6日（水）夜、葛飾支部会館で開催しました。加入して組合員がどんなことを利用できるのか、組合自体がどんなことを運動しているのか、所属している分会・群についてなど、映像を交えながら説明会を進めました。

説明会には、5人の新しく加入した組合員と同じ所属先の群役員、教宣部員であわせて18人の参加がありました。短い時間でしたが参加者の自己紹介や、質疑応答などがあり意見交流できた場になりました。

次年度以降も毎年の取り組みとして予定しています。

分会新聞『奥戸』

今年も特選紙に選ばれる

毎年開催の本部機関紙コンクール。今年は、29支部から分会新聞100

紙、青年機関紙3紙、主婦の会機関紙32紙、シニア友の会機関紙7紙の応募がありました。

葛飾支部からは、『奥戸』

『ほんでん（本田立石分会）』『青戸分会』『中央』『菅浦（堀切分会）』『みずもと』『女性の会かつしか』の7紙を応募しました。

来年2月に行われる本部での表彰式で、特選紙に選ばれた『奥戸』は表彰される予定です。

葛飾支部では、13分会中6分会と女性の会が新聞を発行しています。未発行の分会は、発行できる体制を作れるよう新年度に向けて今から準備をしていきます。

特選紙受賞の『奥戸』

東京土建一般労働組合葛飾支部労働組合の皆さまへ

〈中央ろうきん〉がみなさまの住まいを応援します

団体会員限定

住まい応援キャンペーン

2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）

QUORA-PAY 500円分プレゼント!

アプリの詳細はこちら

住宅ローンの詳細はこちら

以下の①・②・③に該当する方

- ① 団体会員」の組合員の方*
- ② キャンペーン対象期間に「住宅ローン」・「借換・買替ローン」・「有担保フリーローン」を新規でご契約された方
- ③ 「ろうきんアプリ」を2024年4月30日（火）までにインストールし、（口座登録）を完了させた方

*「団体会員」とは、中央労働金庫に出資いただいている労働組合等の団体をいいます。

ろうきんイメージモデル 高梨 聖

〈中央ろうきん〉へ取次ぎを希望の方は組合事務所まで 2023年12月1日現在
商品の詳細は〈中央ろうきん〉千住支店へ TEL:03-3882-3121 担当:金山・山本



杉浦友則さん

辰年生まれ

杉浦友則さん(新金町分会)

地域の工務店ならではの空間づくり

葛飾区新宿で(株)杉浦工務店を継ぐために4代目になるべく修行中の杉浦友則さんは、今年36歳になる年男です。『うちの会社は100年近く続く工務店。これだけの歴史があるのは強みであるのと同時に、プレッシャーもかかる。頑張るしかない。』とお話する友則さん。

小さいころから父親の姿、工務店の姿を見てきた友則さんは、ずっと頭の片隅に大工

仕事の風景があったと語ります。それでも、大学で建築を学び、卒業に伴い目指したものは、大きな建造物を扱う仕事。主に農林水産省からの仕事を受注する農業土木(ダム・ため池など)を専門とした名古屋に本社を置く建設コンサルタント会社に就職が決まった際、そんな息子の思いを両親はしっかりと背中を押ししてくれたそうです。大きな会社でやりがいがあった中で、反面自由のきかない世界も実感。名古屋で6年間過ごし、お客さんと直接やりとりができる工務店仕事が自分が求めてたものであることに改めて気づき、両親の待つ工務店に戻ることになりました。

今では父親や職人さんと一緒に現場で汗を流しながら経験を積み、一級建築士の資格をとるための勉強をして、歴史あるこの工務店のバトンを受け継ぐ準備をすすめています。今後は友則さんが6年間学んだ経験をミックスさせて、地元の工務店ならではの木材にこだわった空間を作っていきたいとお話いただきました。

辰年生まれ

横田進さん(たつみ分会)

丁稚奉公の経験は大きな財産



横田進さん

たつみ分会所属の横田進さん(建具)は、今年84才になる年男です。組合に42才の時に加入し、人生の半分である42年を組合に加入して東京土建の歴史と共に歩んできました。

建具の仕事は、父親もしていたのですが、17歳の時に自ら希望して、父親の元を離れて業平の石井木工所に住み込みで修行(丁稚奉公)。その



齊藤徳好さん

齊藤徳好さん(堀切分会) 区の自治功労者特別表彰

葛飾区は区に対しての功労者への表彰を毎年行っています。令和5年度自治功労者表彰の中で、特に葛飾区の自治行政の伸展に貢献した功績が顕著な方として、堀切分会の齊藤徳好さんが『自治功労者特別表彰』されました。

「人生の中でお役に立てて良かったという生き方をしているだけ。どうして表彰されたのかよくわからない。」とお話する齊藤徳好さん。大勢の人が応援してくれないとできないと、齊藤さん自身ではなく周りの人の協力への

感謝の気持ちが、語る言葉からにじみ出てくるインタビューとなりました。今年50周年を迎える葛飾の川をきれいにする会の活動をし、会長を務めて14年。そこには、葛飾と新潟との深いつながりを作るきっかけをつくらした齊藤さんの取り組みもつなげてきます。

新潟との交流の橋渡しをしながら、ここ葛飾での川の定期的な水質調査をはじめとした環境問題への取り組みや、五泉市から提供されたチューリップを活用した環境問題への啓発活動などの取り組みが今回の表彰につながっています。今後も齊藤さんの活躍に注目です。

際、父親からは、その覚悟が揺るがなくなるためなのか「3年間は敷居をまたがせない」と言われ、結局5年間の修行となったそうです。修行では、仕事をおぼえさせてもらったこと、色んな体験をしたうえで我慢をおぼえたこと、今の自分を作るうえで大きな財産となったと語る横田さん。

その後は、父の早すぎる他

建具という職種については、「ユニット作りが多くなり便利になった今では、建具の技術がいらなくなってしまう。さみしいという気持ちだけでいい表せられない。」と複雑な心境ものぞかせていました。今年、「健康に留意しながら、人に迷惑をかけず、長生きできれば」とその抱負を語っていただきました。

光特使に任命されています。また、葛飾の川をきれいにする会で作成した水中カメラを使った新潟の鮭の調査依頼から、新潟県五泉市との交流が深まり、今では五泉市から葛飾へのチューリップの提供や、区内小学校へ飼育観察するためのイクラの提供などが行われるようになり、齊藤さんからのやりとりを発端にさらに交流が盛んになっていきます。

公式LINE登録しよう

葛飾区自転車ヘルメット補助

2月いっぱいまで終了早めの申請を

葛飾区では、昨年8月21日から2月29日までの期間で自転車用ヘルメットへの補助制度(上限3000円)を開始しています。対象の方は申請をしましょう。

【助成対象】葛飾区内在住で自転車を利用する個人

【対象ヘルメット】令和4年12月20日以降に購入した物で、安全基準の認証マークが

【申請方法】オンライン又は郵送

【締切】令和6年2月29日まで(但し、1方箇に達し次第終了)

【問い合わせ】03-42413-1345

